

2000 SHOP CALENDAR

カレンダーの赤字は当社の休日となっております。

	日	月	火	水	木	金	土
1 January							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
2 February							5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29				
3 March							4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
4 April							8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
5 May							6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
6 June							3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
7 July							8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
8 August							5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
9 September							2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
10 October							7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
11 November							4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
12 December							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					



とんだ、とんだ高あーい / 杉浦正美画

	日	月	火	水	木	金	土
9 September							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						
10 October							7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
11 November							4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
12 December							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					



株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)48-2111(代) FAX (0562)47-2316
ホームページ <http://www.meiki-ss.co.jp/>

モルダ事業部	国	部	〒	所	TEL	FAX
モルダ事業部	京	支店	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-1-1 (国際ビル)	(03)3212-7731(代)	(03)3212-7730
	東	支店	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-1-1 (国際ビル)	(03)3212-7731(代)	(03)3212-7730
	中	支店	〒474-8666	愛知県大府市北崎町大根2	(0562)47-2391(代)	(0562)47-2395
	大	支店	〒564-0043	大阪府吹田市南吹田3-4-32	(06)6386-2151(代)	(06)6386-0932
	山	営業所	〒963-8835	福島県郡山市小原田2-18-14	(0249)42-2031(代)	(0249)42-2032
	足	営業所	〒329-4216	栃木県足利市迫間町字西浦445	(0284)91-0816(代)	(0284)91-0044
	埼	営業所	〒362-0011	埼玉県上尾市大字平塚字西原840-1	(048)776-3811(代)	(048)776-3815
	厚	営業所	〒243-0213	神奈川県厚木市飯山2120-11	(0462)42-0493(代)	(0462)42-2046
	静	営業所	〒422-8036	静岡県静岡市敷地2-22-23	(054)238-0826(代)	(054)238-0827
	北	陸営業所	〒933-0807	富山県高岡市井口本江494	(0766)24-1012(代)	(0766)24-1014
	三	重営業所	〒514-0815	三重県津市大字藤方1563-1	(059)223-1671(代)	(059)223-1672
	広	島営業所	〒734-0025	広島県広島市南区東本浦町11-4	(082)283-7941(代)	(082)283-7948
九	州営業所	〒816-0911	福岡県大野城市大城1-24-1	(092)503-5882(代)	(092)503-5890	
ディスク事業部	東	京	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-1-1 (国際ビル)	(03)3212-7731(代)	(03)3212-7730
プレス事業部	東	京	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-1-1 (国際ビル)	(03)3212-7731(代)	(03)3212-7730

MEIKI NEWS

2000年1月発行 No. 164
名機ニュース

- 取締役社長 年頭のご挨拶
- 事業部長 ご挨拶
モルダ事業部/ディスク事業部/プレス事業部
- 2000年名機ショッップカレンダー

名機



MEIKI

●地球にやさしいプラスチック文化の創造 — 私たちのテーマです。

年頭のご挨拶

新年あけまして、おめでとうございます。昨年は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年は、さらなるご指導をお願い申し上げます。

早いもので、昨年4月に社長に就任して9ヶ月経ちました。この間、皆様からの励ましのお言葉やご指導をいただき、無我夢中で日本国内はもとより海外をパワフルに駆け巡ってまいりました。会社にはないほうが多い私に、社員や先輩から身体に気をつける、飲みすぎな、とのご忠告をいただきながら、なんとか新米社長としてやってまいりました。

そのような中、名機製作所はお陰様で昨年の11月2日に創立66周年を迎えることが出来ました。企業30年説が言われる昨今、これもひとえに皆様のご愛顧の賜と社員一同厚く御礼申し上げます。

当社は66年前の昭和8年、名古屋市瑞穂区塩入町に誕生しました。その工場は田圃に囲まれた高圧線下の借地で、敷地わずか200坪、そこに120坪のトタン張りの工場一棟、従業員15人、ボール盤、シェーパー旋盤など工作機械数台を設置した小さな工場からの船出でした。

私共が尊敬する創業者、加治慶之助氏は技術者としての優れた能力と経営手腕、卓越した先見性を持っており、戦前の7年の間に、まだ日本になかったダイカストマシンを初め射出成形機、ホットプレスを開発しました。そして業量の拡大にともない従業員も400人になっていました。一方、社員には「立体清掃」を唱え精神的清掃を重んじ、常に笑顔で人に接することの大切さを示唆し、社内のいたる所に「ニコニコ鏡」が設置されていました。

この二つの精神は創業者の遺訓として今でも名機は大切にしております。

さて、社長に就任して、まず第一は日本に産業革命が始まっているとの認識を基に、逆境こそチャンスである、そのチャンスは待っていてくれない、だから知恵とスピードが今必須条件であると社員に求めました。この逆境にあってお客様が苦しんでおられる時にこそ名機の技術で問題を解決することが、ご恩返しになると痛感しております。

第二は組織にもスピードを持たせました。大幅な権限の委譲をした上、それぞれの充実と発展を図るため事業部制組織にしました。即ち名機の基盤であるモルダ事業部、プレス事業部、そして今まさに脚光を浴びているディスク事業部であります。モルダ事業部の支店の内、東京支店と関東支店を統合し戦力の集中を図りました。

生産のスピードアップのため生産本部を発足し、その下に生産管理部と製作部を設置しました。また生産管理部の中に調達課を組み入れて生産リードタイムの短縮を図っています。

また、知恵を具現化するために技術本部を発足し、その下に技術部、研究所、成形技術部を設置し、創造の三本柱としました。そしてお客様の不満を解決した上、お客様が儲か



る夢の機械を目標にして時間を忘れて取り組んでいます。この新組織の基で人身を一新した多くの若い部課長を誕生させました。時代の変化に素早く対応できる、小規模で小回りのきくモノ作り、そして社員の一人一人がお客様と共に呼吸できるように心がけた上、21世紀の新品とモノ作りをめざして全社員が心を一つにして挑戦と努力をしてきました。

その結果、平成11年度上期の業績は台湾向けディスク機および、その関連の金型、周辺機器が当初の予想を大幅に上回り、受注、売上、経常利益において良い数字となりました。お陰様で株価も上がり、私共は大変幸せ者と思っております。

しかしながら、上期の好調の主因がディスク機関連に偏っており、経営基盤は決して安定してはおりません。今後は差別化した電動式直圧成形機を初め、お客様の潜在ニーズを実現した数多くの新品の開発に、今迄以上の経営資源を投入して必ずや皆様の期待に応える所存であります。

最後に、名機のホームページを開設しましたのでホームページを開いていただき新製品、新技術等のニュースをご覧いただくと共に、皆様からの質問、問題提起、叱咤激励も受け付けておりますので、ご利用下さい。

それでは本年も皆様方の、より一層のご発展をお祈り申し上げますと共に、当社に対しまして従来にも増してご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

酒井 康一

■ ホームページアドレス
<http://www.meiki-ss.co.jp/>

■ e-mailアドレス
● 共同開発、新分野進出、システム、お困りごと相談など
e-mail:consult@meiki-ss.co.jp
● 製品のお問い合わせ、製品のカatalogのご請求
e-mail:seihin@meiki-ss.co.jp
● ホームページについてのお問い合わせ
e-mail:webmaster@meiki-ss.co.jp

モルダ事業部

新年明けましておめでとうございます。

モルダ事業部は、ディスク以外の射出成形機および関連機器の販売・サービスを担当しております。

アメリカの経営学者P.F.ドラッカーの「事業運営の基本命題は、その持続性にある。そしてその事業目的は、顧客の創造と維持である。」という言葉のとおり、お客様のニーズが多様化し製品が巷にあふれている現在、大量生産方式によるコストダウンだけでは利益を生み出すことは困難と考えます。お客様個々のニーズを共有し、共創価値の実現を目指していかなければなりません。

当社は、今までディスク専用射出成形機や多機能大型ロータリー射出成形機など、このような考え方を先取りして付加価値の高い製品を開発してまいりました。

これからもこの考え方をより一層進展させ、皆様方の良きパートナーとして「共創価値の実現」を目指してまいります。

Injection Machine department



代表取締役社長
事業部長 酒井 康一

ディスク事業部

新年明けましておめでとうございます。

2000年という区切りの良い年を迎え、皆さま方と共に一層の飛躍の年にしたいと思っております。

ディスク事業部は、ディスク専用の射出成形機、金型および周辺機器の開発、設計から販売、アフターサービスまでを一貫して行うディスク成形に関するブコ集団です。

今後の見通しは、台湾でのCD-Rの生産はあと数年間は好調が続くと考えられるものの、人件費の上昇などの問題により、中国本土への生産の移行が予想されます。

またDVDにつきましては、今のところアメリカでDVDムービーが先行していますが、日本においてはゲーム用DVD-ROMの需要が高まると考えられます。さらにはDVD-R、DVD-RAMも本格化することでしょう。

私共は、このようにスピードの速い時代を臨機応変に対応し、生産性の高いディスク成形システムを構築していきたいと考えます。

常務取締役
事業部長 下條 駿一

Disc department



プレス事業部

明けましておめでとうございます。

プレス事業部が発足して初めての新年を迎え、心新たに2000年に踏み出していきたくと考えております。

ICカードやビルドアップ基板などの生産設備として期待されているラミネータは、改良を重ねロット生産ができるまでに成長し、昨年末にはテスト用のクリーンルームも完成しました。

真空ホットプレスにおきましても、次世代の製品開発にご利用いただけるよう、高温、高昇温さらには高圧から低圧までが対応可能なテストマシンを常設しております。

また、今年も昨年同様、生産拠点を海外に計画されるお客様が増えるものと考えられます。

当社はそのようなお客様のご期待に添うべく、海外向けのアフターサービスの充実を図る所存です。

事業部長 高橋 栄一

Press department

